

(新旧対照表)

新	旧
<p>4 . 地域再生計画の目標 (目標2)市道整備による山林とのアクセス向上 (離合困難箇所(4路線)の解消)</p> <p>5 . 目標を達成するために行う事業 (5-1)全体の概要 (略)</p> <p>さらに、「市道鴨部線」、「市道桜井団地宮ヶ崎線」及び「市道菊間松尾立岩線」さらに「市道平山鹿ノ子線」を整備することにより、森林へのアクセスや山間部から国道等へ連絡する区間の安全な通行を可能とし時間短縮にも寄与するものである。</p> <p>なお、市道鴨部線は昭和50年度、市道桜井団地宮ヶ崎線は昭和60年度、市道菊間松尾立岩線は昭和59年度、市道平山鹿ノ子線は昭和60年度より認定路線となっている。</p> <p>(5-2)法第四章の特別措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業 <u>整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</u> (略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林道 1.1km、市道 4.05km ・ 総事業費 1,050,000千円(うち交付金 513,000千円) 林道 60,000千円(うち交付金 18,000千円) 市道 990,000千円(うち交付金 495,000千円) 	<p>4 . 地域再生計画の目標 (目標2)市道整備による山林とのアクセス向上 (離合困難箇所(3路線)の解消)</p> <p>5 . 目標を達成するために行う事業 (5-1)全体の概要 (略)</p> <p>さらに、「市道鴨部線」、「市道桜井団地宮ヶ崎線」及び「市道菊間松尾立岩線」を整備することにより、森林へのアクセスや山間部から国道等へ連絡する区間の安全な通行を可能とし時間短縮にも寄与するものである。</p> <p>なお、市道鴨部線は昭和50年度、市道桜井団地宮ヶ崎線は昭和60年度、市道菊間松尾立岩線は昭和59年度より認定路線となっている。</p> <p>(5-2)法第四章の特別措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業 (略)</p> <p>[整備量及び事業費]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林道 1.1km、市道 3.7km ・ 総事業費 9.3億円 林道 60,000千円(うち交付金 18,000千円) 市道 870,000千円(うち交付金 435,000千円)